

実務経験のある教員による科目の配置状況

分野	教育内容	科目	単位	時間数	実務経験	授業内容 (どのような経験を持ち、どのような授業をおこなうか)
専門分野Ⅰ	基礎看護学	基礎看護学概論	1	30	○	看護師である専任教員がその経験を活かし、看護の概念の理解を基盤とし、対象である人間と看護の役割・機能について教授する。
		基礎看護学援助法Ⅰ	2	60	○	看護師である専任教員がその経験を活かし看護を実践するうえで基本となる、観察・コミュニケーション技術等の習得を支援する。
		基礎看護学援助法Ⅱ	3	90	○	看護師である専任教員がその経験を活かし看護を実践するうえで基本となる、生活環境の調整や療養上の生活援助等の習得を支援する。
		基礎看護学援助法Ⅲ	2	50	○	看護師である専任教員がその経験を活かし看護を実践するうえで基本となる、診療の補助に係る援助技術等の習得を支援する。
		基礎看護学援助法Ⅳ	1	15	○	看護師である専任教員がその経験を活かし看護を実践するうえで基本となる、対象の健康段階及び主な症状のある患者の看護の習得を支援する。
		基礎看護学援助法Ⅴ	2	60	○	看護師である専任教員がその経験を活かし看護を実践するうえで基本となる、看護過程の展開について理解できるよう支援する。
		小 計	11	305		
	臨地実習	基礎看護学実習Ⅰ	1	45	○	臨地において実務者である実習指導者や専任教員とともに看護を実践し、看護の役割を考えられるよう支援する。
		基礎看護学実習Ⅱ	2	90	○	臨地において実務者である実習指導者や専任教員とともに看護を実践し、患者の状況（変化）にあわせて必要な看護を考え実践できるよう支援する。
		小 計	3	135		
		専門分野Ⅰ 合計	14	440		実務経験のある専任教員による科目は14単位、440時間